

「成人おめでとう」 20歳で手にする選挙権

1月10日(日)、町成人式が行われました。
新成人に向け、明るい選挙推進協議会と
めいすいくんが選挙啓発を行いました。

主な内容

- 希望に輝く新たな門出 2
- 3月14日は石川県知事選挙 4
- 町消防出初式ほか 6
- 議会だより 12月定例会 8
- 国勢調査実施本部設置 18



平成22年 成人式

希望輝く 新たな門出



①



②



③



④

1月10日(日)、文化会館フォルテで成人式が行われました。今年、町では男性307人、女性208人の合計515人が成人を迎えました。式にはこのうち、男性165人、女性160人の合計325人が参加しました。

式典に先立ち、実行委員が作成したビデオ「20年のあゆみ」が、上映されました。小・中学校時代の学校行事や部活の写真がスクリーンに映し出されると、会場からは歓声が上がりました。また、恩師が出演し「どんな大人になっていますか？会えるのが楽しみです」と温かいメッセージを贈る場面もありました。

式では、栗町長が「めまぐるしく変化する現代社会で、一人一人が揺るぎない信念と自信を持って、自分の将来を切り開いてください。5万人単独市制の実現に向け、若いみなさんも積極的にまちづくりへ参加し、持てる力と若く新鮮な発想を十分に発揮してください」と新たな門出を祝福しました。これに応え、新成人を代表して谷下浩子さんが「今の社会には、無関心でい

実行委員の声

小林 珠子さん

人生で一度しかできないことなので、実行委員をやってみようと思いました。どんどん話が進んで、出来上がったのを見て達成感があります。何事も思いっきり楽しめる心を忘れない大人になりたいです。



杉田 多翔史さん

大変だったけど、たくさんの人と関わってよかった。今以上に行動に責任と自覚を持ち、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる町をつかっていきたいです。実行委員をやらせていただき、ホントにありがとうございました！



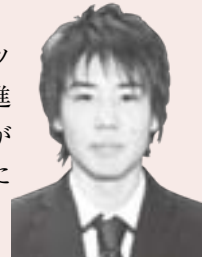
谷下 浩子さん

成人式がとても楽しimdi、当日まで何度も集まり企画してきたので、終わったときは達成感でいっぱいでした。自分をしっかり持ち、周りの意見を聞き、誰に見られても恥ずかしくない生き方をしたいです。



廣田 佳史さん

実行委員は、とても充実感がありました。恒例のビデオの制作方法を大きく変え、一から創作できたのがよかった。謝辞を形式的なものから、もっと中身のあるものにしたい。夢にハッラツと進む若者が多い町にしたい。





- ①企画・運営に携わった
実行委員
- ②華やかな記念撮影
- ③「広報に載せて～」と
仲良し4人組
- ④袴でバッチリ決め、い
ざ成人！
- ⑤中学卒業時より大人っ
ぽくなった顔が並ぶ集
合写真

林さん・杉田さんによる町民憲章唱和→



←谷下さんの新成人謝辞

会場の周りでは、選挙管理委員による選挙啓発が行われ、成人の権利と義務を呼びかけました。

られないさまざまな問題があります。こんな時代だからこそ、積極的に社会に参加し、人生の先輩である方々を見習い、その後継者となって、自分が生きる国の政治に関心を持って進まなければならぬと思います」と決意を述べました。

実行委員の声

北川 真子さん

「20年のあゆみ」を作るとき、中学時代の先生方に会えて楽しかったです。成人として、自分の行動に責任をもてる人になりたいです。いろいろなことに挑戦もしたいです。

そのためにも健康第一！
Enjoy my life!!



長 里衣さん

一生に一度の大イベントなので良い思い出にしたい。感謝を忘れず夢に向かって日々成長、努力していきたいです。野々市町には全国に知れ渡るような町になってほしいです。



林 静奈さん

広報を見て、自分の成人式では実行委員になろうと決めていました。自分たちの成人式を良くしたいという思いで頑張りました。野々市町は生まれたときから住んでいる大好きな町！結婚しても住みたいです♡



小崎 倫子さん

仕事で、なかなか予定が合わず他の実行委員に迷惑をかけたけど、支えてもらい良い経験になりました。一人の大人として、日本を作り子どもや老人の未来を少しでも明るくできる権利を持てたことをうれしく思います。



すてないで ぼくの未来と その一票

3月14日(日)は、

石川県知事選挙の投票日です。



投票時間は、午前7時から午後8時までです。

投票は、私たちが政治に対する意思表示をする大切な機会です。

当町で投票できる人

平成2年3月15日までに生まれた日本国民で平成21年12月1日までに当町に転入届を出した人。
(12月2日以降に県内市町から転入した場合、転入前の市町での投票となります。)
12月2日以降に県内市町に転出(ただし、1回限り)した人は「※最寄りの市町が発行する証明書」があれば当町で投票することができます。

※最寄りの市町が発行する証明書は県内に引き続き住んでいることについての証明書で県内のどの市町でも交付を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

選挙公報

候補者の経歴や政権を記載した選挙公報を広報3月号と同時に、3月初旬に配布します。
よく読んで投票する人を決めましょう。

期日前投票制度

投票日に都合が悪くて投票に行けない人は、期日前投票ができます。

日時 2月26日(金)～3月13日(土)(土日含む)
午前8時30分から午後8時まで

場所 情報交流館カメラア ホール椿

手順 「※投票所入場券」を係員に渡し、宣誓書に必要事項を記入し、投票用紙の交付を受け投票を行います。

※投票所入場券は3月上旬までには個人あてに郵送します。到着前でも名簿に名前があれば期日前投票できます。投票日には投票所へお持ちください。もし、紛失したり、当日忘れたりした場合は係員に申し出てください。

不在者投票制度

同じく投票日に都合が悪く町の投票所で投票することができない人で、一定の条件を満たす人は、不在者投票(「滞在先における不在者投票」「指定病院等における不在者投票」「郵便等による不在者投票」)をすることができます。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ

町選挙管理委員会 (☎227-6026)

投票日に投票所へ行けない人へ

フリーダイビングで限界に挑戦



1月8日、昨年11月にフリーダイビングのコンスタント・ウィズアウト・フィン（足ひれをつけない素潜り）で当時の女子日本記録（現在は52メートル。12月に更新された）を樹立したフリーダイバーの二木あいさん（太平寺1丁目）が町役場を訪れ、栗町長に喜びを報告しました。

メキシコで行われた個人記録会で、それまでの日本記録を2メートル更新する水深45メートルに到達した二木さんは「メンタル面が重要な競技、まだまだ記録は伸ばせる。今年は62メートルの世界記録更新を狙いたい」と話しました。

フリーダイバーとして世界を舞台に活躍する二木さんは3年前からフリーダイビングを始め、海中で映像や写真を撮影している。撮影のためのトレーニングを重ねることが、競技への挑戦のきっかけとなり、今回の快挙へとつながったとのことでした。

20代の投票率はほかの世代に負けている。

全国的にも、20代の投票率は低くなっています。しかし、選挙は上の世代の人たちのためだけにあるわけではありません。若い世代も主張の場として積極的に参加しましょう。

成人式の会場で、選挙啓発を行っていた町明るい選挙推進協議会会長の藤さんから新成人へ向けたメッセージを紹介します。

「野々市町は投票率がまだまだ低い現状です。しかし、社会や地域をさらによくするためには若い人の意見が大切です。成人式を迎えられたみなさんには、選挙権を持つ一人だと自覚していただき、自分の意見が社会に反映されるようぜひ、投票にきてください」



新成人からも選挙に対する意見を伺いました。

・周囲に流されることがなく、自分の意思を持って投票したい。

・周りの20歳になった友達はどう選挙に行っていて、関心を持っている人が多い。

・投票所のアルバイトをしたことがあり、多くの人が投票に来るのだと驚いたし、真剣に悩んで投票している様子を見て、自分もちゃんと考えて投票しようと思った。

・今度の衆院選での政権交代を見て、自分の1票で国が変わるということを実感した。

議会活動

12月16日から1月15日

12月16日 総務常任委員会

17日 教育福祉常任委員会

18日 産業建設常任委員会

市制特別委員会

22日 定例会（討論・採決）

入札結果

1千万円以上（税込） 12月入札分

■北西部土地画整理事業 野々市駅通り線消雪

配管工事 第1工区

予定価格 1,155万円

落札価格 1,096万2千円

落札者 拓土建設(株)

災害からふるさとと、 住む人たちを守る

町内には、野々市町消防団として第1から第5までの5つの分団、町内会には自警団などの自主防災組織があり、地域の防災力の担い手として活動しています。

出初式では、団員たちの士気を高揚し職務遂行への決意を新たにしました。また、出初式や防ぎょ訓練を通し、災害に備えるほか、地域住民の防災意識の向上に努めています。



平成22年 出初式



1月10日(日)、情報交流館カメラアにおいて町消防出初式が行われ、消防団員、自警団員、消防職員の総勢約300人が一同に集結しました。

式典では、永年勤続者や退団者など消防活動に尽力された方々への表彰が行われ、栗町長が「地域の消防防災の要として町民の生命・財産を守るため 献身的にご努力されていることに対し感謝しています。火災による被害を最小限にするためには、消防団員をはじめ消防関係者の協力が不可欠です。今後とも、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために、努力して欲しい」とあいさつしました。

また、受章者を代表し、消防団の山口副団長が「今後とも初心を忘れず、災害のない明るく住みよい生活環境を守るため、訓練と修養に励み、消防に課せられた任務を遂行するため一層精進を重ね全力を尽くして献身する」と誓いました。

式典に引き続き、庁舎南側のあらいみや公園では、無火災を願い、消防車両行進、はしごのぼり、新春の大雪を彩る裸放水が行われました。氷雨が降る中、寒さに負けぬ勇ましい姿に、見守る見物客からは、大きな歓声と拍手が起こっていました。

自主防災組織と消防団は地域防災力を支える両輪

自主防災組織は町内会単位で自主的に組織される地域で一番身近な防災組織です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感で、隣近所で支え合うものです。消防機関などがすぐに対応できないような災害時には、自主防災組織がいち早く地域住民の安全確保を図ります。

町では、各町内会に働きかけ、自主防災組織の結成を依頼するほか、組織のリーダー育成のため、防災士の資格取得に対する助成などを行っています。

消防団は消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関です。町に住み、本業をもつかわら、地域防災のリーダーとして、優れた技術・知識を有し、地域の防災力として大きな役割を果たしています。専門性が高い消防団は、自主防災組織のアドバイザー的な役割も果たします。

1月24日(日)、光松八幡神社（徳用町地内）において、文化財火災防ぎょ訓練が行われ、住民、第3分団、野々市消防署など約50人が参加しました。訓練は、神社内の立ち木に雷が落ちて火災が発生、周辺の建物に燃え広がる恐れがあるという想定で行われました。火災を発見した住民が速やかに初期消火と重要物品の搬出をするとともに119番通報し、消防団、消防署の各隊が放水するまでを訓練することで、万が一の場合の行動手順などについて確認しました。

文化財防火デー ～文化財を守ろう～

1月26日は、昭和24年1月26日に、法隆寺金堂壁画が焼損した反省から、「文化財防火デー」と定められています。日本の文化財は、木や紙などの可燃物で造られているものが多く、火災になると大きな被害を受ける危険性が高くなっています。貴重な文化財を守るため、防火設備の点検と整備を行うとともに、消防演習などを実施して文化財を火災から守る運動が全国的に行われています。



文化財火災防ぎょ訓練



表彰された方々（敬称略）

■石川県知事表彰

▽功労章（山口章副団長）

▽永年勤続功労章 中川康史、中山

康介（野々市消防署消防士長）、中

村義彦（第1分団副団長）、絹川実、

北村恒、石浦隆（第1分団部長）

■野々市町長表彰

▽10年勤続功労章 田中一博、無量

井智一（第1分団）、押田克夫（第4

分団）、宮川美保子（第5分団分団長）

■野々市町消防団長表彰

▽5年勤続功労章 坂井邦治、木津

也寸志、熱野竜一（第1分団）、西

本哲也（第2分団）、塩田健、岩内

信行（第3分団）

▽優良消防団員表彰 山谷良輪、田

中一博、無量井智一（第1分団）、

伊藤正浩、木村和正、平浪弘之（第

2分団）、鍵主宏、井高孝志、松本

信孝（第3分団）、井守豊、丸山隆、

宮崎輝幸（第4分団）、谷川由美、

小寺くるみ（第5分団）

■退団者感謝状

栗生木伸一（元第1分団分団長）、

宮崎嘉裕（元第2分団分団長）、高

納一雅（元第2分団分団長）、林紀代

美（元第5分団分団長）、江川和也（元

第1分団）、北潟隆志（元第2分団）、

村田秀豊（元第2分団）、伊藤好男

（元第2分団）、瀬川高広（元第3

分団）、吉田雅明（元第4分団）

議会だより

議案6件と、議会議案1件それぞれが原案どおり可決されました。

可決された議案

平成21年度町一般会計補正予算

5億5,333万7千円を追加し、予算総額を145億3,578万4千円とする。

■主な内訳

共済負担率の変更などによる職員人件費、利用者・申請者の増による障害者自立支援給付や児童手当などの各種給付、御園小学校および野々市中学校体育館地震補強・大規模改造事業などによる増額。

平成21年度町国民健康保険特別会計補正予算

2億5,502万6千円を追加し、予算総額を39億8,922万6千円とする。

■主な内訳 決算見込に伴う保険給付費などによる増額。

平成21年度町後期高齢者医療特別会計補正予算



230万6千円を追加し、予算総額を3億3,230万6千円とする。

■主な内訳 保険基盤安定繰入金などによる増額。

平成21年度町介護保険特別会計補正予算

730万1千円を追加し、予算総額を16億5,630万1千円とする。

■主な内訳 前年度決算に係る繰越金、前年度の国庫補助金などの精算に伴う追加交付などによる増額。

平成21年度町下水道事業特別会計補正予算

672万円を追加し、予算総額を20億5,151万円とする。

■主な内訳 人事異動などに伴う人件費、事業の精算見込みに伴う公共下水道事業費の調整。

財産の取得について

小型ノンステップバス1台（コミュニティ

ティバスのつてい）について、石川日野自動車株式会社と1,884万2,710円で契約する。

一般質問

町政全般にわたり、川、早川、岩見、土田、徳野、無量井、大東、野村議員の8人が一般質問を行いました。質問者と質問、答弁の要旨は次のとおりです。（発言順）

防災体制と防災に対する 町の考えを示せ



川 哲郎 議員

近年「大規模災害」が、世界各地で頻発しているが、わが町も例外ではない。

当町は、歴史ある町並みや家屋がよく見うけられ、その為、甚大な被害が推測される。当町においては災害時の「相互応援協定」の締結、町民を対象に、毎年「防災訓練」を行うなど、防災に対する意識が高く積極的な姿勢が見られるが、「防災体制」の実情を問う。

自主防災組織



各町内会単位での防災組織の実態と町としての協力支援体制は。



27町内会で防災組織を結成、または結成予定と聞いている。災害時要援護者対策について、災害時要援護者台帳を配布し、プランの説明を行うなどしているが、今後も自主防災組織の

可決された議会議案

・ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

結成状況を踏まえ、先進事例の発表などの研修を実施していきたい。

地震ハザードマップ



どんなものか。その目的と狙いは。



震度6強の地震が起きた時、建物の建築年次や地層を判断しながら、揺れの強さによる建物への被害がどの程度生じるかについて、地図上にその度合いを色分けして示したものである。この地震ハザードマップを全戸配布することにより、地震時の危険性に対する理解、防災意識を向上させ、安全で安心のまちづくりを目指していきたい。

協力機関・団体の装備及び施設等の充実

Q 老朽化と立地条件の観点から、第4分団の格納庫の移築についての計画を示せ。

A 老朽化が著しいことから、建て替え時期や場所などについて、今後十分な検討をしていきたい。

避難所

Q 行政として、町民避難所の周知や、避難誘導などの指導をしているのか。

A 防災訓練や広報により、避難所などの周知などを行っている。

町民

Q リーダーの育成・防災に対する心構えの啓発活動・研修会などの実態は。また、災害弱者となる要支援者を町としてどの程度把握しているのか。

A 県と町で14人の防災士を養成した。防災士と協力体制を構築するなどしていきたい。



ごみゼロ運動と新エネルギーについて

早川 彰一 議員

Q ごみゼロ運動について、分別収集の取り組みで常設収集場が整備されているが、人口増とごみの関係はどのような状況にあるか、ごみ分別や減量に対する町民の意識はどうか。今後の公共施設の整備で、コンクリートや建築廃材が多量に発生する。また、公園や街路樹のせん定で植物性廃棄物も相当量になる。リサイクル技術の開発を進めていく必要はないか。町も住民も一体の取り組みで環境整備を充実すべきではないか。

A 人口増に伴い家庭系の廃棄物の全体量は増加しているが、推計人口をもとにした住民一人当たりの排出量は減少している。公共施設整備時に出る建築廃材などは、建設リサイクル法に従い分別され、再資源化している。また、せ

ん定の際に出る枝などについても、生ごみのリサイクルとあわせて有効な再資源化について、新しい技術の開発に注目し、減量、リサイクルの推進に努めていきたい。

Q 新エネルギーについて、県は「県民エコライフ大作戦」で省エネ運動を展開している。町もエコタウンを目指し、新エネルギー開発に取り組む考えはないか。太陽光、河川、風力など自然財産の活用やバイオエネルギーの生成について、可能性調査を行え。町の大学と企業の連携で、ごみ減量やバイオケミカル、新エネルギーの研究を助成するなど積極的に取り組め。向こう10年間でエネルギー革命を第5次総合計画の中に織り込み、自己完結型循環社会の実現を目指せ。

A バイオマスエネルギーについては、松任石川環境クリンセンターで廃棄物発電とすでに導入されている。地球温暖化対策の推進、環境に優しいまちづくりのために、町内の研究機



小泉「構造改革」

岩見 博 議員

Q 総選挙で国民は、痛みを押しつけてきた自公政権退場の審判を下した。町民のくらしと町財政にとって、小泉「構造改革」「三位一体改革」は間違いだったのでは。判断と町財政の影響は。来年度予算編成で、小泉「構造改革」路線から転換して、町民のくらしを守れ。

A 町財政への影響額は、平成16年度から平成18年度までの3年間で約10億円の財源を失ったことになり、三位一体の改革後もその影響を引きづっていることを考えると、その影響額は現在まででさらに倍ほどに達する。小泉構造改革は、いわゆる格差社会という構造をつくり出したと総括できる。しかし、サブプライム問題、リーマンショックに端を発する経済危機を契機に、旧自

民党政権下においても一定の政策路線の変更がみられ、現在では鳩山政権下で格差是正のための政策転換が行われようとしているところである。今後、国の動きを注視しつつ、地方6団体と歩調を合わせ、地方財源の充実強化に向けて働きか

関などと連携しながら、新エネルギーの普及、促進に努めたい。また、次期総合計画については、策定委員会などにおいて、ごみの減量や新エネルギーの導入などの環境対策について議論していきたい。

路線からの転換を

事業仕分けの影響は

Q 事業仕分けでは、ムダ使いにメスが入ったものもあるが「自民党政治を変えてほしい」と願った国民の願いに込めていない。町民のくらしに係る多くの事業も廃止や見直しとなり、国民負担を増やす議論がおこなわれている。町民・予算への影響と対応は。

A 市町村レベルでの事業仕分け評価結果の影響は不明であるが、約20の事業で何らかの影響があるのではないかと予想する。事業仕分けの評価結果は法的拘束力を持つものではないため、国の動向を注視しながら、町の予算編成を進めていきたい。

75歳以上の高齢者医療の無料化を

Q 高齢者が長生きを喜べる社会をつくるのが政治の責任。75歳以上の高齢者の医療費無料化を。

A 高齢化率の上昇と医療の高度化による医療費の伸びが必至であるため、現在は75歳以上の方の医療費の無料化を考慮する状況ではないと思っています。高齢者医療制度改革会議で25年4月に新しい高齢者医療制度を施行するスケジュール案が提示されているので、国の動向を見守っていききたい。

ワクチン接種助成を高校卒業までに

Q 新型インフルエンザワクチン接種助成を高校卒業までに。

A 新型インフルエンザワクチン接種がすでに開始されており、実施途中での変更は町民や医療機関などへの周知が困難である。国の方針に従い県



観光も視野に入れた地域振興策の提案

土田 友雄 議員

Q 本町中心部に「野」の市、サークル活動、お祭りなどの文化の表現場所としての機能をもった広場などを創設せよ。観光も視野にいたれた町づくりを目指せ。

A 歴史、文化、特産品などの町の魅力を町内外に発信するための空間を創設することは、町の活性化を図る上で大変有効な方法であるので、今後さらに観光資源の掘り起こしに努めると同時に、地域観光資源の活用方法について十分研究していききたい。

内状況等を踏まえて、生活保護世帯および町民税非課税世帯以外の助成は現在予定していない。

ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種に助成を

Q 細菌性髄膜炎から子どもたちを守るためにヒブ・肺炎球菌ワクチン接種に助成を。

A 細菌性髄膜炎の予防には、ヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチンが有効との報告があるが、現在、細菌性髄膜炎の発生自体が極めてまれなため、早急なワクチンの導入は考えていない。しかし、予防対策は重要なので、国における定期接種化や公費助成について、いろいろな機会を通して要望していききたい。

富陽小児童増の対応について

Q 富陽小の児童増には、学校教育の今後を見据えて、小中一貫校の新設といった柔軟な考え方も必要ではないか。良好な教育環境として小中一貫教育の取り組みを検討せよ。

A 県内において小中一貫校は設立されておらず、全国的にも事例が少ないことから、現在のところ設置は考えていない。

地域教育の取り組みについて

Q 急激な人口増加により、ふる里伝統文化意識が希薄化している。郷土を愛するののいちっ子育成のため、面白く楽しく、いつの間にか身に付くまんが本を市制施行を機に作成せよ。

A 当町の歴史、伝統、文化を身近に感じ、郷土として愛着と誇りを持つような地域教育を推進していききたい。まんがの作成については、野々市を知る一つの方法として、広く研究していききたい。

発達障害児の対策について

Q 発達障害は見えにくく分かりづらい障害のため、対応が遅れている。支援について保健センター、保育園、学校の取り組み状況と今後について示せ。

A 保健センターにおいては、健診により早期発見に努めている。障害を持つと疑われる乳幼児は、母子保健ケース検討委員会での専門家の指導により、家族に対する支援、助言を行っている。保育園では、障害児保育指導委員会において必要と認められる場合には保育士を



設備投資に関する補助について

徳野 光春 議員

Q わが国は今デフレが進行し、需要と供給に35兆円もの差が存在し、民間にはまったくお金が回っていない

加配し、集団保育を行っている。学校現場においては、特別支援コーディネーターが教育的支援の必要な児童生徒の実態を把握し、保護者や担任の相談窓口となり、関係機関との連絡調整を行っている。また、障害当事者を中心に障害福祉関係機関が集まりネットワークを構築し、情報や地域の課題を共有することを目的とする相談支援体制の確立のために、自立支援協議会の設立準備を進めている。

富奥公民館改築について

Q 協働の社会づくりが大切と言われている今日、公民館の果たす役割は大きい。伝統文化発信の場として、地域性を重視した改築を望む。

A 公民館の改築については、財政状況の推移を見極めた上で、市制施行に向けた次期総合計画の中でできるだけ早い時期に改築できるよう検討したい。また、単なる学習の場や避難所としてではなく、地域文化発信の場、地域の人々が集う地域コミュニティの拠点とした施設になるよう、また、太陽光発電など環境にも十分配慮したいと思っている。

い状態である。このことから、自然エネルギーの設備投資などに対し、町の補助制度を設けてはどうか。エコポイント制

度を例に取るまでもなく、経済波及効果は十分あると思われる。当町の財政状況で出来るる財政雇用政策だと思うので、再度検討を願う。

A 国や県の動向を見据えながら、これからの地球温暖化対策の推進、環境に優しいまちづくりのために、太陽光発電の普及促進に向けた助成制度のあり方について、さらに前向きに検討していきたい。

養護学校の跡地について

Q 太平寺にある養護学校の敷地は2代目町長中島栄治氏により取りまとめられ、金沢工業大学とならび、現在の野々市町の学園都市を形成する礎



来年度の予算編成、地球温暖化対策

無量井 次歳 議員

Q 8月30日、民主党政権が誕生し、自民党の時代は終わった。鳩山首相は日本の国全体の改革を進めている。今までやってきたことをやめ、今までやらなかったことをやってみる、チャレンジである。町も新政権のもとでの予算作りを計画しなければならないと思うが、いかがか。

A 次年度は野々市小学校改築事業をはじめとした大型事業が集中している年でもあり、景気悪化による大幅な町税収入の減も懸念され、ここ数年で最

になったゆかりの土地である。当然、今は県が利用している施設なので町単独の判断は難しいと思われる。町民の声、また、県民の声として、県の施設の誘致を要求しても良いのではないか。町の見解はどうか。

A 跡地利用について、周辺地域の住環境等に配慮し、利便性の高い交通網を十分活用し、本町を含む広域的な視点で地元にも有益となる公共施設の誘致、転用などを希望する要望書を県知事に提出した。跡地の取得については、財政状況が厳しい状況なので、町として買取する考えはない。県の動向を注視し、当町にとって有益となる施設の誘致に努めていきたい。

も厳しい予算編成になると思っている。大胆な事業の選択と重点化を推し進め、町民の声と視点を大切に、これまで以上に行財政運営の合理化、効率化に努めながら予算編成に当たっていききたい。

Q 地球温暖化対策について伺う。鳩山首相は2020年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を1990年比で25%削減すると、気候変動に関する国連首脳会合で表明している。町では二酸化炭素濃度や排出量を調査したことがあるか。また、町独自で排出量

削減のための具体的な取り組み、町民に對しての啓発を行ったことがあるか。

A 二酸化炭素の濃度や排出量の測定を行ったことはない。町民に對する啓発については、町広報やホームページなどで日常生活の中で気軽に取り



人事院勧告で予算削減分の使い道

大東 和美 議員

Q この不況の中、仕事を失い、住むところにも困っている人に、一律3万円の家賃補償事業を町独自で開始してはどうか。

A 厚生労働省で住宅のない離職者に対する住宅手当緊急特別措置事業などの支援事業を行っている。町では就学援助費の支給などを行っているので、家賃保証のような支援事業の実施は現在考えていない。

のつティが消える？どうなる公共交通、どうする公共交通

Q 「ゆるキャラ」のごとく愛され、路地を走る小型の「のつティ」の姿が当町の走る広告塔。このまま（現在の車輛を）走らせる方法を探してみてもどうか。バス車両、リースではなく購入を選んだのはなぜか。中型バスを走らせるのであれば、広域の視点で公共交通の効率化を模索してはどうか。

組める身近な行動を呼びかけ、意識の高揚に努めている。町の取り組みとしては、LED公衆街路灯の設置、エコ博士認定事業、県エコ保育所・幼稚園モデル事業（あすなろ保育園）などがある。

A 現在の車両を再利用できないか検討しているが、所有者である運行事業者との調整、車両の修理、改良に伴う費用が必要になってくるので、今後協議していきたい。車両の買い替えについては、2種類の国庫補助を受けて購入する予定であり、リースよりも経費削減することができ。また、今年度から地域公共交通の活性化及び再生に関する法律にもとづく法定協議会を立ち上げ、公共交通に関する総合的な連携計画を策定している。

介護保険制度の実態調査を実施、そこから見えたもの

Q 早急に、専門家がいる相談窓口の開設を提案する。

A 現在は相談内容に応じ、病院や県の相談窓口を紹介している。また、高齢者の相談窓口として、町地域包括支援センターがあり、必要な場合には医療関係や福祉関係の専門員を交えての検討会を行い、家族を支える体制に

なっている。市制に向けて福祉事務所を立ち上げるにあたり、精神面のケアなどの相談体制の充実を図っていききたい。

聴覚障がい者の皆さんがより住みやすくなるために

Q 女性の手話通訳士の採用、集会場の提供、聴覚障がい者が安心して住める住環境を提供せよ。

A 平成19年度から手話通訳士1人の募集を行っており、今年度も年齢幅を広げたが応募者がいなかった。来年度も募集条件の拡大や勤務形態などを検討し、確保に努めたい。集会場については、障害者福祉協議会は利用申請により使用可能であり、ほかにも利用できる施設がある。住環境については、一つ

の障害に特化したものではないが、北西部地区にバリアフリーに配慮した町営住宅の建設を予定している。

新政権の仕分けについて

Q 国勢調査に向けて、住民登録の推進。国の事業仕分けが当町の予算編成に及ぼす影響と今後の町の対応について伺う。

A 住民登録については、4月に大学出張窓口を開設するなどして、登録の推進を図っている。事業仕分けについては、評決結果が全体としてあいまいなものが多く、地方への影響が未知数であり、また、法的拘束力を持つものではないため、影響は算出できないが、国の動向を見極め、予算編成に取り組んでいきたい。



町の自然環境への取り組みについて

野村 満 議員

Q 山も海も大きな川もない当町で、自然体験から環境を学ぶ取り組みがすすめられないか。県が主催する、いしかわ自然学校への参加も一つの事例として考えられる。また、当町は豊富な地下水に恵まれているが、これも大きな自然の「おかげ」である。地下水の抑制も大切だが地下への還元や雨水の利用促進も町の課題である。これらの施策には、どのようなものがあるか。「里山」の大切さもいわれているが、ほかの自治体と

協定を結び、第二の我が町といえるような取り組みができないか。

A 雨水の還元や利用については、小学校および保育園のグラウンドなどに雨水の地下浸透施設、町庁舎に雨水の貯留施設を設け、トイレの洗浄水や散水栓などに利用している。ほかの施設では、下水道への接続を機に、不用になった浄化槽などを利用して雨水をため、防火用水槽として活用している。ほかの自治体と連携しての取り組みであるが、

いしかわ森林環境税の導入により、いしかわ森林環境基金事業が行われ、NPOなどの団体を対象とした山林の保全再生や利活用などの事業に対する補助事業のほか、いしかわ森林環境実感ツアーなどが企画されている。このような事業を積極的に活用し、町民も参加するよう広報に努めていきたい。

町の補助金の扱いについて

Q 補助金を受ける団体は、経理も含めて自立しているべきであるが、経理事務分野を役場職員に任せきりで、職員の負担になっていないか。また、負担金が「なあなあ」で取り扱われていないか。補助団体の数と補助金の総額はどのくらいあるか。

A 団体の事務における役場職員の負担であるが、団体により関与の度合いが異なるが過度の負担はない。また、補助対象となる団体は247団体、補助金の総額は3億1,745万6千円である。



市制の要件 上下水道施設など

市制施行コラム7



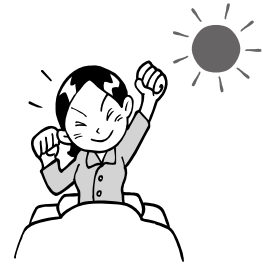
石川縣市制条例に、「公営又は私営の上水道、下水道又は塵芥（じんかい）処理場が設けられていること」と定められています。野々市町では、上水道普及率が96.9%、公共下水道整備率は、91.0%が認可されており、町内のほぼ全域で上下水道施設が整備されています。

流域下水道および塵芥処理施設は、近隣自治体と共同した広域施設として設置、運営しており、要件を満たしていると言えます。

また、「軌道又はバス等の交通施設が整備されていること」とも定められており、野々市町においては、JR西日本と北陸鉄道の鉄道、加賀白山バスなどの民間バス路線に加え、コミュニティバス「のっティ」が町内を運行しており、これらの要件は、十分に満たしているものと思われます。

健康通信

生活リズムを整えよう



24時間社会や核家族化の進行によって、ライフスタイルが多様化し生活リズムが乱れているといわれています。今回は生活リズムを整えることの大切さについて考えましょう。

町の子どもの様子

町の平成19年度3歳児健診において就寝時間が夜10時以降の子どもが33.5%で県全域19.6%と比較して多い傾向にあります。就寝が遅くなることで起床が遅くなり、朝食が抜けることや飲み物だけになる子どもがいます。

睡眠は大切です

眠っている間は日中疲れた体や脳を休ませるだけでなく脳や身体の成長に必要なホルモンが分泌されています。代表的なものが「成長ホルモン」です。特に夜9時から12時までが一番多く分泌されています。ほかに情緒安定に影響を与える「メラトニン」が分泌されています。

幼児の睡眠時間は平均10時間、小学生でも最低8時間は確保する必要があります。夜9時までは寝るようにしましょう。

生活リズムを整えるために

- ・毎朝同じ時間に起きましょう
- ・カーテンを開けて朝の光をしっかり浴びましょう
- ・日中は活動的に動きましょう
- ・寝る前は電気を消して静かな環境をつくりましょう
- ・食事は三食規則正しく、特に朝食はしっかりと食べましょう

子どもの生活リズムは親が整えなければ自然に身に付くものではありません。リズムを整え、こころもからだもすこやかに成長していくことのできるののいちっ子を育てていきましょう。

問い合わせ 保健センター

(☎248-3511)

高齢者の権利を守る

「福祉サービス利用支援事業」

高齢者の権利を守る制度の第2弾として福祉サービス利用支援事業について紹介します。

1月号で紹介した成年後見制度が主に財産の管理や処分を目的としているのに対して、福祉サービス利用支援事業は身近に世話をしてくれる親族などがいなくても、地域で生活していけるように援助するものです。

対象者は？

もの忘れのある高齢者など判断能力が十分でない方が対象です。

サービス内容は？

家賃や電気・ガスの利用料の支払い、介護保険サービスの利用や日常的な金銭の管理、大切な書類



問い合わせ

福祉サービス利用支援事業も成年後見制度と同様に、認知症の方が生活していく上で大切な制度です。認知症になっても安心して暮らしていけるように、このような制度を上手に利用しましょう！

町社会福祉協議会

(☎246-0112)

地域包括支援センター(役場1階)

(☎227-6067)

地域の底力
～高齢者の安心を
みんなで守ろう～

...⑩



カメラあちこち

まちの話題、あんなこと、こんなこと。



←押しずしにチャレンジ。完成後は連れてきた子どもと一緒に味わう人もいて、伝統の味が次の世代へ伝わっていく様子を見ることができました。



↓60の手習いクッキングこの日仕入れたばかりの氷見産のアジ。さばく姿が男らしい！

料理にチャレンジしてみませんか？町内ではさまざまな料理教室が行われています

◆アイビー世代のいきいき講座③「60の手習いクッキング」、◆伝承料理教室「押しずしにチャレンジ」

12月19日(土)、中央公民館で本町地区町民21人が参加し、町在住で上金親友調理師会の荻田敏和さんを講師に、カニの甲羅盛りやカキの正香焼き、アジの刺身などを作りました。アジをさばく際には、「魚は左側に頭を置いて調理するのが正しいやり方」などちょっとした料理のコツも交えていました。参加者の半分以上が男性で、最近は料理に興味を持つ男性が増えてきているそうです。

12月21日(月)、保健センターで、町食生活改善推進員らの指導を受け、20人がうすあげや干ししいたけを入れた押しずしや酢なます、茶巾しぼりなどを作りました。参加者は、「サケやタイが一般的なので、ちょっと変わった感じがするけど、これもまたいいですね。」と話していました。



町の魅力を発見しよう！

カメラア親子体験塾「野々市の昔と未来を訪ねよう」

12月19日(土)、町内小学生の親子とカメラア・パルの会メンバー19人が、金沢工業大学、照台寺、郷土資料館を訪ねました。あいにくの風雪で、まち歩きはできず、バスの車窓から高橋川のカモや富樫館跡の史跡などを見ました。

町で一番高い工大のライブラリーセンターでは、10階から雪の町並みを眺めたり、レコードを鑑賞したりしました。参加した若いお母さんは「最近越してきて、この町のことを知りたかったので参加しました」とのことでした。

←ジュークボックスを開けてもらって、子どもも大人も興味津々

音と光のギフトをどうぞ！

フォルテふれあいピアノコンサート

12月19日(土)、文化会館フォルテで音と光の競演「ふれあいピアノコンサート」が開かれました。演奏会の冒頭、辰巳千代子さんの演奏に合わせて光の緞帳（通称ルミナス）が色とりどりに輝き、幻想的な雰囲気に包まれました。連弾でマナビフェスタに出演経験もある柴田里枝さん、前川佳奈子さんがクリスマスメドレーなどを演奏し、会場を盛り上げました。

光によってさまざまに輝く、手編み手染めの美しい緞帳に目を奪われます→



年末も気を引き締めて！

年末特別防犯・交通安全パトロール

12月11日(金)から20日(日)にかけて年末の特別警戒と交通安全県民運動が実施され、町内では、連日にわたり赤ランプ作戦や巡回広報を行い、注意を促しました。

11日に行われた出発式では、町防犯協会や町交通安全協会、町交通安全推進隊に金沢工業大学イーグル隊など関係者約100人が参加しました。岡山芳英町交通安全協会会長が「交通事故件数が昨年より増え残念ですが、今こそわれわれボランティアの力が求められている」と激励しました。式のあと、各地区のパトロールや防犯・交通安全指導に出発しました。

町民劇団旗揚げ！

劇団nono(のの)第1回小発表会

昨年実施した演劇ワークショップに参加した人たちを中心に、8月、野々市演劇サークル「劇団nono」が発足しました。8歳から80代までの14人が所属し、月3日程度の練習を行ってきました。演劇の面白さを実感してきた団員は、1月11日(月・祝)情報交流館カメリアで、約80人の観客を前に、朗読劇「黄色のトマト」の公演を成し遂げました。団員は物怖じせず、のびのびとした舞台を創り上げ、期待以上の出来となり大満足。劇団nonoでは俳優やスタッフなど劇団員を募集中しています。興味のある方はカメリアまで



女性の視点を町政に

まちづくりの初夢をみんなで語る

1月13日(水)、安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指して、町女性協議会の会員32人が粟町長を囲んで、恒例となった「新春町長と語ろう」が開催されました。

講話では、5万人市制に向けて、行政も企業も住民も町の元気をみんなで発信していこうと粟町長の熱い思いが語られました。意見交換では、参加者からじょんからまつりへの提案や地域での介護の問題、子育て支援の課題など生活感のある意見が出されました。和やかな中にも、町の発展や住民の幸せを願う意見や思いを語り合うことができました。

みんなのひろば

掲載ご希望の方は…広報情報課 (☎227-6056)

かがやくひとみ

まっているかな

あすなろ保育園



今日は、楽しみにしていたケアパートナー野々市への訪問の日です。「おじいちゃんたち待っとるかな」「元気にしとるかな」と当日の朝うれしそうに登園してきました。

パートナーが近づくにつれ「わたしたちのこと、忘れとったらどうしよう」とちょっと心配そうな声も聞こえてきました。

そんな子どもたちでしたが、施設長の笑顔でのお出迎えや、ホール入場時の大きな拍手にホッとした表情を浮かべていました。

「みんなの元気を分けてあげようね」と毎朝している体操やリズムを一緒にしました。「あら、かわいらしい」「上手に踊ったね」と声をかけてもらい、うれしきっぱいの子どもたちでした。

わらべ歌を歌い、おじいちゃんたちの手に触れ「あったかいね」「しわいっぱいあるね」と子どもたちには優しさが伝わっているようでした。手をさすったり、肩たたきをしたりすると、おじいちゃん目から涙があふれます。涙は子どもたちの心に温かく伝わり、「元気を分けて、優しさをもらったね」と次の訪問を楽しみに帰ってきた年長組でした。

『もしも』の時の安心と信頼

会員募集 会 員 募 集 中
フューネラル倶楽部
JAのいちコスモスの会

JA指定ホール
フューネラルホール 天祥閣
野々市町矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141

フリーダイヤル
0120-800-448
URL http://www.tensyoukaku.co.jp

スピード
給付の 県民共済

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は
☎0120-63-5011
☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
共済取扱団体/石川県認可 石川県民共済生活協同組合
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F

●ホームページからはこちら ●携帯電話からはこちら
石川県民共済 検索

お子様の夢をお手伝いします!
ろうきん教育ローンキャンペーン
特別金利実施中!

変動年 1.90%
(別途、保証料0.5%が必要です)

- ◆ご融資額 最高1,000万円
- ◆ご返済期間 最長15年(据置期間含む)
- ◆ご返済方法 毎月返済または、毎月返済・ボーナス返済の併用
- ◆固定金利もございます。
※2009年11月10日現在適用中。
※審査の結果ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

金沢市本町6-79
北陸労働金庫金沢南支店 TEL 076-243-8811

広告欄



ケーキ屋さんになりたい

牧村 日菜乃さん
菅原小学校 1年

わたしの夢

ぼくの夢



電車の運転士になりたい

近間 健太郎くん
菅原小学校 1年

オススの本

● 今月のおはなし会

と き 2月13日(土)、27日(土)

11:00 から

ところ 児童図書コーナー

楽しい絵本や
紙芝居の
読み聞かせです。
誰でも自由に参加
できます。

● 今月の展示図書

テーマ 『雷と雪』

※期間中の展示図書の貸し出しはできませんので、予約をお願いします

町立図書館

野々市町本町 2-14-6 (☎ 248-8099)

開館時間 10:00 ~ 19:00

(土日は 17:00 まで)

休館日 毎週月・祝日

● 子ども向け



『おうまさんしてー!』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社

お父さんのせなかに乗って“おうまさん”してもらうのって楽しい。だけど、お父さんだって本当は、おうまさんしてほしいんだ。だれか乗せてくれないかな。

● 大人向け



『パリママの24時間 仕事・家族・自分』

中島 さおり／著 集英社

いま、ヨーロッパで一番出生率が高いフランス。少子化の日本とは制度に違いがあるけれど、すべての人が最適な環境で子育てしているわけではない。パリのママたちの暮らしを覗いてみよう。

図書館お役立ち情報：2010年は国民読書年。全国各地で読書推進の取り組みが行われます。あなたもこの機会に読書を楽しんでみては？

正月の風物詩「百人一首」。競技かるたにも親子で挑戦！



1月16日(土)、情報交流館カメラでこどもセンターチャレンジ教室「新春 親子でいっしょに百人一首」が行われました。県かるた協会会員が講師を務め、親子や放課後児童クラブの子どもたち30人が、競技かるたを体験しました。

実演を交えたルール説明後、グループに分かれ大人も子どもも真剣勝負。また、競技の合間に、上の句と下の句を、語呂合わせや連想などで結びつける覚え方を会員から教わり、熱心に耳を傾けていました。

Topics

人口5万人達成に向け、国勢調査実施本部を設置

平成 21 年 12 月 25 日(金)、今年 10 月 1 日に実施する国勢調査に向け、調査事務を適正かつ効率的に行うため、国勢調査実施本部会議を開催しました。

会議に先立ち、栗貴章町長と田中宣副町長の手で実施本部の看板が掲げられました。

会議では、市制施行の要件である「人口5万人達成」に向けて、担当者だけではなく全職員が一丸となって臨むための体制づくりを確認し、前回調査との変更点の説明や、課題となる調査票の回収方法について協議を行いました。

実施本部の本部長は田中副町長が務め、この時期での本部設置は、全国で2番目の早さとなっています。

平成 21 年 12 月 1 日現在の町推計人口（県発表）は 50,742 人と公表されています。



リレー方式で町民の方々を紹介しています

“いきいき” ののいち 人 45



両親から葉汰くんへ（ちょうど取材した1月9日で2歳）

「健康でのびのびと育ってね。
友達もたくさんできるといいね」

上山 亜希子さん／末松
【左から篤志さん、葉汰くんと】

野々市町で暮らしてどうですか？

平成 17 年に越してきました。松任方面にも金沢方面にもどこでも行きやすいですね。車があればという条件ですが…

広報についてのご意見は？

冊子なので読みたいときに手にとれるのがいいですね。お知らせ版は全部読んでいますし、本編も知っている人がいないか目を通しています。

自分の性格を一言であらわすと？

子どもと同じくマイペースです。

リフレッシュ方法や趣味は？

たまに外に出て美味しいものを食べる。休日は買い物に行ったり、お弁当を持って公園に行ったりすることもあります。

目標やチャレンジしてみたいことは？

今年の目標は整理整とん。子どもがもう少し大きくなったら沖縄か北海道に旅行に行ってみたいですね。

町への要望は

こども医療費の助成が中学卒業まで延びたことは、とてもうれしいです。希望としては、子どもが遊べる施設が近くに欲しいことと、のっティが運行時間帯などもっと利用しやすくなるといいですね。

うぶごえ																									
子の名													親の名												
住所													住所												
小林	奈央	脇田	のの	川嶋	れみ	田甫	将太	石林	巧	西	叶愛	川口	蒼太	山口	輝羅	佐渡	彩花	増山	李恵子	石川	華凜	長井	美音		
喜江	純	美由紀	稔充	洋子	健二	佳織	善信	加詠子	順一	由佳	知之	亜樹奈	慎介	香織	俊洋	千里	五嗣希	文恵	風香	雄基	瞳美	優			
野代1	押野1	栗田2	藤平田1	栗田4	徳用町	御経塚1	菅原町	押越2	菅原町	下林3	矢作3														
小山	留依	佐久間莉子	平田雄聖	山本音寧	前多陸	横山晃太郎	引地夏風汰	正水沙弥	尾倉遼太	川端莉奈	高木響雅	中川輝大	向雪菜	北野れな											
さつき	昭平	里葉	洋	江里子	紗起子	逸平	留美	隆治	小百合	恵輔	麻衣	大輝	隆晴	陽子	峰雄	由香里	剛志	奈穂	聖彦	美保	一起	恵幸	美あ	貴之	
藤平田1	扇が丘	新庄5	栗田6	高橋町	押野1	菅原町	野代2	三納	新庄5	郷町	栗田1	栗田6	押越2												

足立	狭間	椎間	田中	山口	中山	布村	新古	至極	長守	松下	北口	市川	磯邊	永井	泉屋	桶	本田	咲川												
憲盛	音玲	周一	心大	真歩	恵里	悠人	愛莉	天虹	慶仁郎	陽一	優奈	慶	龍弥	冬弥	利宗	優奈	真衣	蓮心												
奈緒子	憲保	佳代	祐治	仁美	徳恵	肖英	枝子	高広	千恵美	匡司	日沙	亜希子	雅之	三紀正	武志叔	泰香	由美子	雅巳	真里	将喜	明子	貴之	綾香	利明	美樹	克也	容子	政樹	真紀	雅之
押越2	上林4	若松町	扇が丘	柳町	藤平田1	本町4	矢作1	横宮町	下林4	上林4	押野6	若松町	菅原町	本町6	本町4	稲荷4	白山町	堀内3												

ご寄付

ありがとうございます

■町福祉基金へ

▽匿名の方から 3万円

■町社会福祉協議会基金へ

▽関西野々市会会長

魚野政治様から

3万円

▽町女性協議会様から

2万円

▽町更生保護女性会様から

1万円

▽井戸谷信男様（御経塚3丁目）、匿名の方4人から合計

8万8千円

氏名		前住所	住所
井川	正志	御経塚3	御経塚3
岡本	美里	金沢市	
二谷	史成	長池	
田原	由紀	輪島市	長池
広瀬	悟志	栗田3	
樋木	奈美	金沢市	太平寺3
山下	大輔	野代2	
新田	和恵	野代2	野代2
村上	陽出元	太平寺1	
小田	洋子	白山市	太平寺1
北村	聡	新庄3	
森	寿子	新庄3	新庄3
山下	智	新庄4	
水野	由香	新庄4	新庄4
川原	一徳	金沢市	
金谷	睦美	白山市	御経塚1
吉田	大輔	小松市	
中川	可奈子	栗田1	栗田1
東	俊彦	押越1	
沼田	マリ	金沢市	押越1
酒井	勇樹	下林4	
須永	敬美	下林4	下林4
林	陽平	愛知県	
杉山	有希	太平寺1	太平寺1

氏名		住所		年齢	
清水不二男	住吉町	86歳		西村 信一	85歳
市川 正雄	郷 町	85歳		本村 修	50歳
宮野 静子	押野 4	79歳		高山ツヤ子	88歳
高田 雄策	柳 町	88歳		今永 廣人	84歳
谷内 知行	扇が丘	74歳		中川 秀子	88歳
田中龍之祐	徳用町	93歳		本町 3	81歳
	太平寺 4	88歳			

北村	垣	川岸	影	高宮	万智子	平	裕崇	中山	孝子	中橋	洋二
美恵	勝敬	由紀	孝之	愛知	県	御経塚	3	御経塚	4	御経塚	4
白山	市	野代	3	野代	3	野代	3	野代	3	野代	3
菅原	町	菅原	町	菅原	町	菅原	町	菅原	町	菅原	町

戸籍の窓

H21.12.16 ~ H22.1.15 受付分

.....

■12月末現在の人口

() は前月比

人口 46,005人 (+76)

男 23,172人 (+44)

女 22,833人 (+32)

世帯数 19,254世帯 (+43)

■12月中の人の動き

転入 223人

転出 168人

出生 44人

死亡 23人

※住民基本台帳に記載されている数字です



越前焼 つぼ 壺（栗田遺跡）

越前焼は平安時代の終わりのころから福井県丹生郡越前町の辺りで作られている焼物です。江戸時代までは当時の人が日常的に使う甕・壺・搦鉢が多く作られました。福井県や石川県の遺跡から多く出土しますが、北海道や青森県などの遺跡でも出土しており、日本海沿岸東部を中心に広い範囲で流通していました。

写真の壺は平成 17 年に実施した栗田遺跡の発掘調査で、土坑（大型の穴）から多くの破片の状態で見つかりました。破片を接合すると全体の約 8 割まで復元することができました。大きさは口径 17cm、高さ 46cm で、形状から室町時代後期頃（今から約 500 年前）に作られたものと思われます。

壺は甕とともに貯蔵容器として広く一般に使用されており、当時の人々の暮らしにはなくてはならないものでした。

テレビ広報

ケーブルテレビ9ch
のいちふれあい通信
8:00～ 8:30
18:00～18:30

ラジオ広報

FM放送 76.3MHz
マイタウンのいち
月～金／ 6:30～ 7:00
11:15～12:00
16:00～16:45
土／ 11:00～12:00

編集後記

競技かるた体験取材し、久しぶりに百人一首を実家から持ち出しました。ふと、札を読み上げるカセットテープに目が留まり、再生できる機器が家にあるかどうか気になりました。思いがけず時代の流れを感じた瞬間でした（金森）

親子体験塾の町めぐりの取材がてら、雪の本町通りや高橋川をカメラで撮ってみたら、なかなかのもの。厳冬期から早春を迎える今頃が、最も季節の移り変わりを肌で感じます。天気の良い日は町探検を楽しんでいます（榎谷）

発行 野々市町 〒921-8510
石川県石川郡野々市町字三納18街区1番
編集 広報情報課（毎月1回発行）

TEL(076)227-6056 FAX(076)227-6251
ホームページアドレス <http://www.town.nonoichi.lg.jp/>
Eメールアドレス info@town.nonoichi.lg.jp